

創立 100 周年記念事業 「挑戦する知性」プロジェクト 東京女子大学 A.K.ライシャワー学費支援奨学金 2026 年度 奨学生募集要項

東京女子大学では、創立 100 周年記念「挑戦する知性」プロジェクトの取り組みの一つとして、外国人留学生で入試成績優秀者を対象に、選考の上、卒業までの 4 年間にわたり「A.K.ライシャワー学費支援奨学金」を授与します。「A.K.ライシャワー学寮奨学金」と同時申込が可能です。

*A.K.ライシャワー（1879-1971）アメリカ長老派教会の宣教師として来日。東京女子大学の設立に参画し、設立代表者として、常務理事として本学の財政を支えた。

本学入学試験については、「東京女子大学 2026 年度外国人留学生入学試験要項」*をよく読み、受験してください。入学試験出願期間は、2025 年 11 月 13 日（木）～11 月 25 日（火）（締切日必着）です。出願には、本学への入学検定料 35,000 円がかかります。

*2026 年度現代教養学部外国人留学生入学試験要項・本学所定用紙は本学公式サイトよりダウンロード

1. 応募条件

この奨学金は、次の条件をすべて備える者が応募できます。

- (1) 2026 年 4 月に東京女子大学現代教養学部に入学者（在留資格「留学」取得者）
- (2) 成績、人物ともに優秀である者
- (3) 経済的に援助を必要とする者
- (4) 本学の他の学費奨学金を受けない者（授業料減免も含む）
- (5) 年額 60 万円以上の学外奨学金を受けない者

2. 募集人数

3 名

3. 支給金額

年額 50 万円

4. 支給期間

4 年間

ただし、継続して受給するためには、年度ごとに学業成績等による審査に合格する必要があります。そのほか、生活・修学状況等により支給を継続しない場合があります。修学状況については、前年度 GPA2.4 以上を継続支給の目安とします。

5. 応募書類

- (1) A.K.ライシャワー学費支援奨学金願書
- (2) 出身高等学校、日本語学校などの教員の推薦書（厳封されたもの）

(3) 経費支弁者の所得証明書（最新のもの、コピー可）

以下の(4)から(6)については、外国人留学生入学試験の出願書類とします。あらためて提出する必要はありません。

(4) 入学願書

(5) 高等学校の成績証明書（出願資格 2③に該当する者は、検定の成績証明書。高等学校中途退学者については、高等学校の成績証明書も提出。）

(6) 経費支弁計画書

<個人情報取り扱いについて>

この奨学金応募により本学が知りえた個人情報は、本奨学金業務についてのみ使用します。

6. 学費支援奨学金出願締め切り

2026年1月6日（火）必着のこと（郵送または国際交流センター窓口を持参）

外国人留学生入学試験出願時（締め切り 2025年11月25日（火））に出願することも可能です。

7. 選考

応募書類および面接により、総合的に選考します。

面接日：2026年1月20日（火） 詳細は追って連絡します。

8. 選考結果の発表

外国人留学生入学試験合格者発表と同時に本人に通知します。採用決定者には、授与通知を併せて送付します。

9. 支給方法

学費は奨学金を差し引いた額を納入していただきます。

<<留意事項>>

奨学生の義務

奨学生として採用された者は、下記の義務を全て果たす必要があり、それに反する者は奨学金支給の停止および返還義務が発生する場合があります。

1. 誓約書の提出
2. 毎月の在籍確認（国際交流センターの毎月の集まりに出席）
3. 毎年の奨学金継続審査時等に学習状況報告書の提出

<応募書類提出および問合せ先>

東京女子大学国際交流センター

〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1

Tel 03-5382-6460 Fax 03-5382-6463 E-mail:iec@gr.twcu.ac.jp

[事務室開室時間] 土・日・祝日及び下記休業日を除く 9:00～11:25、12:25～17:00

[事務室休業日] 2025年8月7日(木)～8月20日(水)、12月25日(木)～2026年1月4日(日)

2026年度 A. K. ライシャワー学費支援奨学金願書

記入日：_____年____月____日

東京女子大学 学長殿

私は、2026年度 A. K. ライシャワー学費支援奨学金の受給を希望し、ここに申請いたします。下記の記載事項にまちがいありません。

申請者署名

(自筆)

記

氏名	カタカナ			
	漢字			
	英字			
生年月日	年	月	日生 (満	歳)
国籍・地域		出生地		

(1) 2026年度 A. K. ライシャワー学費支援奨学金に応募する理由 (経済的な観点を含む)

(2) 学費支援奨学金により、留学生活にどのような効果が期待されるか

以上